

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
分担研究報告書

高齢者がん患者の看護に関する研究
研究分担者 作田裕美 大阪市立大学大学院看護学研究科 教授

研究要旨

【目的】①がん治療に伴うリンパ浮腫の発症要因を文献から明らかにする、②患者・家族・医療従事者のための「JASCC がん支持医療ガイドシリーズ」を出版する、③高齢期にあるがん治療後リンパ浮腫患者の留意事項を明らかにすることとした。

【方法】①文献検討を行い論文化、②書籍の執筆、③研究計画立案と倫理審査委員会の審査を受ける。

【結果】①まとめた文献検討は大阪市立大学看護学雑誌に掲載された（R2.3月）、②書籍は出版された（R1.8月）、③多施設共同研究「高齢期にあるがん治療後リンパ浮腫患者の留意事項に関する検討」の研究計画を立案し、研究代表者の所属する大学の倫理審査委員会に諮り承認を得た。

A. 研究目的

①がん治療に伴うリンパ浮腫の発症要因を文献から明らかにする、②患者・家族・医療従事者のための「JASCC がん支持医療ガイドシリーズ」を出版する、③高齢期にあるがん治療後リンパ浮腫患者の留意事項を明らかにすることとした。

B. 研究方法

①文献検討を行い論文化、②書籍の執筆、③研究計画立案と倫理審査委員会の審査を受ける。

（倫理面への配慮）

①②文献の著作権の侵害にあたらないように留意し、引用は原文を用いるとともに、引用文献名及び引用文献箇所を明確に記述した。

③研究代表者の所属施設の倫理審査委員会承認を得た上で、データ収集を行う病院の倫理委員会審査を受ける。

C. 研究結果

①医学中央雑誌、PubMed、CINAHL を利用した電子検索により、最終的に国内文献 6、海外文献 96 を分析対象とした。リンパ浮腫の発症要因は、個人要因、病態因子、治療的因子、遺伝的特徴に大別できた。研究結果から信憑性の高い発症要因は、高齢、肥満、活動量低下、他の術後合併症の併発、手術療法、放射線治療に加え化学療法があ

げられた。

②JASCC リンパ浮腫部会メンバーで協力して執筆した結果、8月に『JASCC がん支持医療ガイドシリーズ Q&Aで学ぶ リンパ浮腫の診療』が出版された。

③多施設共同研究「高齢期にあるがん治療後リンパ浮腫患者の留意事項に関する検討」の研究計画を立案し、研究代表者の所属する大学の倫理審査委員会に諮り承認を得た。

D. 考察

①がん治療に伴うリンパ浮腫の発症要因に関する研究方法は症例集積研究が多く、ランダム化比較試験のメタ解析やコホート研究が乏しいため、エビデンスレベルを保証する研究デザインによる大規模研究の必要性が示唆された。

②リンパ浮腫診療はエビデンスが少ない領域であるため、患者の声を多く拾いながら、著書の改定を行っていく必要がある。

③研究結果をもとに、高齢期にあるリンパ浮腫患者の特徴や留意事項を導き出す必要がある。

E. 結論

①文献検討は雑誌に掲載された。がん治療に伴うリンパ浮腫の発症要因を情報提供することができた。

②患者・家族・医療従事者のための『JASCC

がん支持医療ガイドシリーズ』を出版した。
③研究準備を整えた。今後データ収集を行う。

G. 研究発表

<その他>

- 作田裕美, 小川佳宏, 坂口桃子, 新井直子, 吉澤いづみ, 高倉保幸, 山本優一, 加藤るみ子, 宇津木久仁子, 矢形寛 (2020) : がん治療に伴うリンパ浮腫の発症要因に関する文献検討, 大阪市立大学看護学雑誌, 16, 33-41.
- 中尾富士子, 江川幸二, 作田裕美, 鈴木志津枝 (2019) : アクションリサーチによるがん治療に伴う続発性リンパ浮腫の予防と悪化防止に関する看護実践の課題と解決過程, インターナショナル Nursing Care Research, 18 (4), 41-50.
- 作田裕美, 小川佳宏, 新井直子, 淡河恵津世, 加藤るみ子, 高倉保幸, 村川由加理, 山本優一, 吉澤いづみ (2019) : JASCC がん支持医療ガイドシリーズ Q&A で学ぶ リンパ浮腫の診療, 医歯薬出版.